

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：ちゅーりっぴキッズ	種別：地域型保育事業
代表者氏名：中野目 美奈	定員（利用人数）：8名（利用者：8名）
所在地：〒233-0003 横浜市港南区港南1-3-37リバーサイド福長103	
TEL：045-349-5883	ホームページ：https://www.npo-tulip.com/kids/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人ちゅーりっぴ	
職員数	常勤職員：3名 非常勤職員：8名
専門職員	園長：1名 保育士：5名
	保育補助：3名 調理員：2名
施設・設備の概要	保育室：2室 トイレ：1ヶ所
	調理室：1ヶ所 事務室：1室
	園庭：無

③ 理念・基本方針

【理念】

- 子どもひとりひとりを価値ある存在として尊重します
- 子どもの最善の利益を考慮した保育を行い、ひとりひとりの健やかな育ちを支えます
- 子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す基礎を培います

【保育方針】

- 子どもひとりひとりに愛情を持って接し、人への信頼感を育て情緒の安定をはかります
- 子どもひとりひとりが健康で安全に心地よく過ごせる環境をつくります
- 子どもの育つ力、生きる力を引き出します

【園目標】

- 心身ともにたくましい子
- 優しく思いやるのある子
- 心豊かな子

～保育目標～

今日もいきいき、心の根っこを育てよう

（保育目標に込めた思い）

今日もいきいきの「も」には、昨日も楽しかった！明日も楽しみ！と子どもたちが思えるような保育を目指す意味が込められています。

心の根っこは、生きる力につながる部分です。目に見えない力、たくましい力、頑張

る力、思いやりの気持ちなどこれから生きていくうえで必要とされる力は、1・2歳でもしっかりと育つ部分であると考えています。
 愛情を持って接し、自己肯定感を高め、子どもたち自身が自分のことを好きでいてほしいと思っています。そして自分が好きな子は、他者も思いやり優しい気持ちが自然と身についていきます。
 その心の根っこが育つよう、子どもたちも職員も笑顔で過ごせる園でありたいという思いで日々保育に取り組んでいます。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・最寄りの駅から徒歩で5分。大きい通りから中に入っている所以周りは閑静な環境です。目の前には川もあり、鯉やカモやシロサギ・アオサギなどの大きな鳥も生息し、自然にも触れることができます。
- ・近隣には公園もたくさんあるので、晴れている日には毎日公園で遊びます。秋以降には全員が歩いて散歩に出かけられるようになってくるので、長い距離歩くことで体力も身につきます。また、系列園や連携園とも散歩先で会うことも多く子どもたちも一緒に遊び、保育者同士も交流を持つことが出来、意見交換を通じてスキルアップにもつながっています。
- ・近隣のお寺では鯉を見させていただいたり、どんぐりやまつぼっくりを拾わせていただき地域の方たちにも園児を優しく見守っていただいています。
- ・マンションの一室で、家庭のような環境で保育を行っています。人数も8名と少ないからこそ、ひとりひとりが安心して過ごせるよう丁寧に対応しています。また保護者にも丁寧に関わり、お迎えの時など家庭での悩みを聞いたり安心して預けていただけるよう、また心の拠り所となるような環境づくりに努めています。
- ・写真の掲示、保護者限定のYouTubeでの動画配信やブログの配信も行い、保育の様子を伝えています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月18日（契約日）～ 令和6年1月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点
 1)子どもに寄り添った保育を行っています
 園は、1、2歳児クラス4名ずつ計8名の小規模園です。低年齢のため、職員は、個々の発する言葉を聞いたり、表情や動作から推し量り、子どもの気持ちに寄り添い、共感したり、思いを代弁しながら保育に当たっています。個別指導計画には子どもの様子（自己主張が強くなってきている・多少不安定な面もあり、保育者に甘える姿が見られるなど）に対する狙い・内容・配慮が丁寧に記録されており、子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っていることが窺えます。職員は子どもの欲求を受け止めたくて、子どものために何が必要かを常に考えています。

2)子どもの「できた」を大切にしています
 今年度の重点目標のひとつを『子どもの「できた」を大切に共に喜び、自信や自己肯定感につながる保育を行なう』としています。おもちゃなどは自分で好きなものを取

り出して、遊べる環境にしています。会議では子ども主体の保育になるよう様子を見ながら声かけをする、集中しているのであれば待つ（遊びでも食事でも）ことを確認し、議事録に残しています。1、2歳児クラスの全園児8名の家庭的な雰囲気のある園ですが、活動は合同になるため、1歳児に難しすぎず、2歳児が物足りなくならないよう配慮をしています。年齢別の保育も適宜取り入れています。

3)保護者から高い満足度を得ています

保護者の園満足度の高さは園実施の総合満足度アンケート、第三者評価の利用者調査（回収率100%）での総合満足度は100%の結果が出ています。保護者との関係性を保つための取組として、日々口頭や個別の連絡帳で園と家庭、それぞれでの子どもの様子を伝え合い、子どもの成長する姿を共有しています。コロナ禍の前年度のWEB会議形式で行った懇談会では人形を使って歯磨きの仕方などを見せ、おたよりなどの紙で伝えづらいようなことを伝えることができました。園でどんな絵本を読んでいるのか知りたいとの保護者意見から始めた絵本の貸し出しは大変好評です。

4)職員育成の充実が期待されます

今年度は経験の浅い職員が複数配置になったので、職員を育成しながら、保育の改善や保育の質の向上、意識の向上につなげていこうとしています。取組の継続が望まれます。

5)人事基準の総合的な仕組みづくりが期待されます

入職時に配付する「ちゅーりっぷキッズの職員になられた方へ」の中で目指す職員像を明記していますが、法人としての人事基準は明確化されていません。職員が自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて第三者評価を受審させていただきました。職員各自自己評価を行い、職員間での話し合いの中で園で取り組んでいるもの、また課題となる点や改善点も明確に分かりました。自分たちの保育を見直す大変良い機会をいただき勉強にもなり、今回受審をしたことで日々悩んでいたことも自信につながる面もありました。受審するにあたり、保護者の皆様にはお忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございます。あたたかいご意見をいただき、保護者の皆様に安心してお子さまを預けていただけるよう今後更なる保育の質向上、子どもたち一人一人に寄り添う保育を引き続き目指して職員全員で取り組んでいきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり